

平成23年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	千葉県	市町村類型	Ⅲ-2	指定団体等の指定状況				区分		平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・%)	
				財政健全化等	×	歳入総額	4,478,547	4,787,769	実質収支比率	10.3	7.2					
市町村名	一宮町	地方交付税種地	2-3	財源超過	×	歳出総額	4,171,366	4,493,783	經常収支比率	84.0	85.5					
				首都	×	歳入歳出差引	307,181	293,986	(※1)	(90.3)	(92.1)					
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	-	81,516	標準財政規模	2,981,936	2,965,949					
				中部	×	実質収支	307,181	212,470	財政力指数	0.53	0.56					
人口	22年国調(人)	12,034	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	94,711	28,120	公債費負担比率	10.5	10.2				
	17年国調(人)	11,656			山振	×	積立金	179,492	101,425	健全化判断比率	-	-				
	増減率(%)	3.2			低開発	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-				
住民基本台帳人口	24.03.31(人)	12,459	第1次	549	735	指数表選定	○	実質単年度収支	274,203	129,545	連結実質赤字比率	-	-			
	23.03.31(人)	12,550		10.2	13.0	基準財政収入額	1,214,164	1,193,920	実質公債費比率	11.0	12.1					
	増減率(%)	-0.7	第2次	1,131	1,265	基準財政需要額	2,379,871	2,292,297	将来負担比率	53.0	76.1					
面積(km ²)	23.02		第3次	21.0	22.4	標準税収入額等	1,555,974	1,527,220	資金不足比率(※4)							
人口密度(人/km ²)	523		3,707	3,570	經常経費充当一般財源等	2,538,055	2,530,701									
世帯数(世帯)	4,393		68.8	63.3	歳入一般財源等	3,544,980	3,595,076	地方債現在高	3,783,106	3,880,918						
職員状況																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	うち公的資金	3,493,599	3,540,061	債務負担行為(支出予定額)	165,545	194,700	関係する一部事務組合等一覧 組合等名 地方公社・第三セクター等一覧 団体名 (※3)		
	市区町村長	1	6,304	一般職員	113	355,159	3,143	収益事業収入	-	-	土地開発基金現在高	58,044	58,042			
	副市区町村長	1	5,112	うち消防職員	-	-	-	積立金現在高	849,642	670,150	財政調整基金	849,642	670,150			
	教育長	1	5,482	うち技能労務職員	8	17,200	2,150	減債基金	142	141	その他特定目的基金	831,252	661,621			
	議会議長	1	2,840	教育公務員	-	-	-	関係する一部事務組合等一覧 組合等名 地方公社・第三セクター等一覧 団体名 (※3)								
	議会副議長	1	2,370	臨時職員	-	-	-									
	議会議員	14	2,130	合計	113	355,159	3,143	関係する一部事務組合等一覧 組合等名 地方公社・第三セクター等一覧 団体名 (※3)								
	ラスパイレース指数(※6)		101.7		(93.8)											
	一般会計等の一覧 項番		事業会計の一覧 項番		公営企業(法適)の一覧 項番		公営企業(法非適)の一覧 項番		関係する一部事務組合等一覧 組合等名		地方公社・第三セクター等一覧 団体名		(※3)			
	(1) 一般会計		(2) 国民健康保険事業				(5) 農業集落排水事業		(6) 長生郡市広域市町村圏組合(一般会計)							
		(3) 介護保険事業						(7) 長生郡市広域市町村圏組合(水道事業会計)								
		(4) 後期高齢者医療事業						(8) 長生郡市広域市町村圏組合(病院事業会計)								
								(9) 一宮聖苑								
								(10) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)								
								(11) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)								
								(12) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)								
								(13) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)								
								(14) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)								
								(15) 千葉県後期高齢者医療広域連合(特別会計)								

(注釈) ※1: 經常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: ラスパイレース指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,345,272	30.0	1,345,272	47.9	普通税	1,341,007	99.7	-	
地方譲与税	72,227	1.6	72,227	2.6	法定普通税	1,341,007	99.7	-	
利子割交付金	3,072	0.1	3,072	0.1	市町村民税	619,789	46.1	-	
配当割交付金	3,605	0.1	3,605	0.1	個人均等割	19,507	1.5	-	
株式等譲渡所得割交付金	741	0.0	741	0.0	所得割	522,345	38.8	-	
地方消費税交付金	99,098	2.2	99,098	3.5	法人均等割	27,469	2.0	-	
ゴルフ場利用税交付金	17,069	0.4	17,069	0.6	法人税割	50,468	3.8	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	636,102	47.3	-	
自動車取得税交付金	21,021	0.5	21,021	0.7	うち純固定資産税	631,051	46.9	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	20,799	1.5	-	
地方特例交付金	22,146	0.5	22,146	0.8	市町村たばこ税	61,556	4.6	-	
児童手当及び子ども手当特例交付金	7,732	0.2	7,732	0.3	釧産税	2,761	0.2	-	
減収補填特例交付金	14,414	0.3	14,414	0.5	特別土地保有税	-	-	-	
地方交付税	1,301,782	29.1	1,165,707	41.5	法定外普通税	-	-	-	
普通交付税	1,165,707	26.0	1,165,707	41.5	目的税	4,265	0.3	-	
特別交付税	134,884	3.0	-	-	法定目的税	4,265	0.3	-	
震災復興特別交付税	1,191	0.0	-	-	入湯税	4,265	0.3	-	
(一般財源計)	2,886,033	64.4	2,749,958	97.8	事業所税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	2,613	0.1	2,613	0.1	都市計画税	-	-	-	
分担金・負担金	28,183	0.6	-	-	水利地益税等	-	-	-	
使用料	135,619	3.0	56,372	2.0	法定外目的税	-	-	-	
手数料	7,671	0.2	-	-	旧法による税	-	-	-	
国庫支出金	314,130	7.0	-	-	合計	1,345,272	100.0	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-					
都道府県支出金	344,900	7.7	-	-					
財産収入	13,639	0.3	2,162	0.1					
寄附金	72,562	1.6	-	-					
繰入金	38,590	0.9	-	-					
繰越金	293,986	6.6	-	-					
諸収入	130,621	2.9	96	0.0					
地方債	210,000	4.7	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	210,000	4.7	-	-					
歳入合計	4,478,547	100.0	2,811,201	100.0					

区分		平成23年度		平成22年度	
徴収率	現・計	97.3	87.7	97.2	88.4
(%)	年	97.5	88.9	97.3	89.5
		96.8	85.4	96.8	86.4

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	529,052	実質収支	83,995
下水道	53,584	再差引収支	73,150
病院	52,678	加入世帯数(世帯)	2,301
上水道	51,047	被保険者数(人)	4,310
工業用水道	-	被保険者	86
国民健康保険	84,479	1人当り	81
その他	287,264	保険税(料)収入額	203
		国庫支出金	
		保険給付費	

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位:千円・%)					
目的別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	112,048	2.7	-	112,048	
総務費	1,041,577	25.0	87,642	843,594	
民生費	1,193,457	28.6	6,803	663,772	
衛生費	424,898	10.2	21,759	387,571	
労働費	61,769	1.5	-	-	
農林水産業費	173,756	4.2	55,247	140,291	
商工費	90,555	2.2	47,249	68,423	
土木費	206,727	5.0	93,284	162,636	
消防費	226,578	5.4	1,360	224,544	
教育費	264,984	6.4	27,598	261,068	
災害復旧費	2,908	0.1	-	1,743	
公債費	372,109	8.9	-	372,109	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	4,171,366	100.0	340,942	3,237,799	

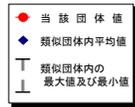
性質別歳出の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,913,136	45.9	1,432,410	1,406,290	46.5
人件費	1,002,520	24.0	914,437	905,644	30.0
うち職員給	590,560	14.2	502,913	-	-
扶助費	538,507	12.9	145,864	128,537	4.3
公債費	372,109	8.9	372,109	372,109	12.3
元利償還金	372,109	8.9	372,109	372,109	12.3
内 うち元金	307,812	7.4	307,812	307,812	10.2
訳 うち利子	64,297	1.5	64,297	64,297	2.1
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	1,914,380	45.9	1,654,535	1,131,765	37.5
物件費	493,290	11.8	374,192	312,910	10.4
維持補修費	16,770	0.4	15,026	15,026	0.5
補助費等	581,182	13.9	565,404	458,561	15.2
うち一部事務組合負担金	377,114	9.0	377,032	345,718	11.4
繰出金	425,327	10.2	375,056	345,268	11.4
積立金	383,226	9.2	310,272	-	-
投資・出資金・貸付金	14,585	0.3	14,585	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	343,850	8.2	150,854	-	-
うち人件費	10,928	0.3	10,928	-	-
普通建設事業費	340,942	8.2	149,111	-	-
うち補助	26,693	0.6	1,222	-	-
うち単独	314,044	7.5	147,684	-	-
災害復旧事業費	2,908	0.1	1,743	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	4,171,366	100.0	3,237,799	-	-

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成23年度

千葉県一宮町

人口	12,450人	(H24.3.31現在)	実質赤字比率	-%
面積	23.02km ²		連結実質赤字比率	-%
歳入総額	4,478,547千円		実質公債費比率	11.0%
歳出総額	4,171,366千円		実質負担比率	53.0%
実質収支	307,181千円		市町村類型	H19 Ⅲ-2 H20 Ⅲ-2 H21 Ⅲ-2
標準財政規模	2,981,936千円		(年度毎)	H22 Ⅲ-2 H23 Ⅲ-2
地方債現在高	3,783,106千円			

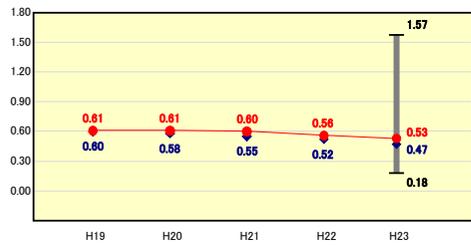


※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力

財政力指数 [0.53]

類似団体内順位 20/75 全国平均 0.51 千葉県平均 0.74

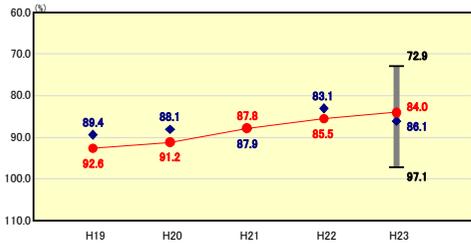


財政力指数の分析欄
 類似団体の平均値を0.06ポイント上回る0.53となりましたが、千葉県平均からは0.21ポイント下回る指数となりました。引き続き、歳入面の根幹をなす町税の徴収強化など、自主財源の積極的な確保に努め、歳出面でも徹底した事務事業の見直し等により経費の節減を図り、財政基盤の強化に努めて参ります。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [84.0%]

類似団体内順位 25/75 全国平均 90.3 千葉県平均 91.0

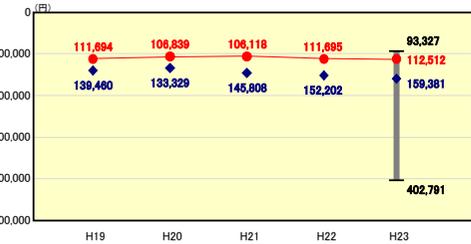


経常収支比率の分析欄
 経常収支比率は年々減少を続け84.0%となりました。前年度と比較すると1.5ポイントの改善となりましたが、これは分子要素(人件費や物件費の増加などで0.3ポイント増加)は増加しているものの、それ以上に分母要素(2.1ポイント増加)の普通交付税が大きく増加したことで比率が減少したもので、依存財源の影響が改善が図られたものとなっています。今後も更なる比率の改善が図られるよう、徹底した経常経費の節減と自主財源の強化に取り組み、財政構造の硬直化が進行しないよう細心の注意を払い予算執行に努めて参ります。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [112,512円]

類似団体内順位 10/75 全国平均 119,477 千葉県平均 110,124

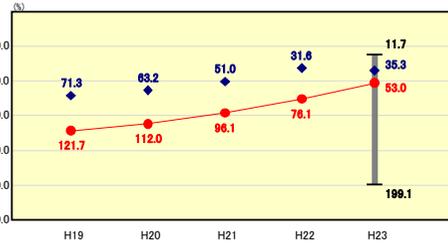


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 人件費における給与や物件費における委託料の水準が低いことが主因となり、類似団体の平均値を46,869円下回る112,512円となりましたが、前年度からは817円増加し、千葉県平均からも2,388円上回る決算額となっています。今後は、定員管理の適正化や物件費の更なる節減に努め、適切な水準が維持出来るよう取り組んで参ります。

将来負担の状況

将来負担比率 [53.0%]

類似団体内順位 40/75 全国平均 69.2 千葉県平均 77.3

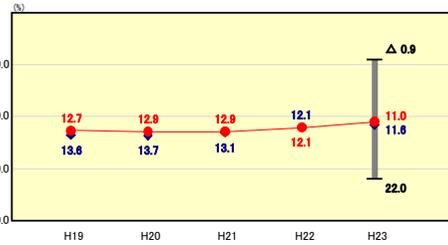


将来負担比率の分析欄
 将来負担比率は年々減少し、前年度に比べると23.1ポイント改善の53.0%となりました。比率が改善した要因は、分子が減少し分母は増加したことによるものです。(①分子…地方債残高の減少に加え、将来負担額から差し引く基金残高が増加したことにより減少。②分母…標準財政規模に含まれる普通交付税額が増加したこと増加。) 今後は、新たな債務負担行為の設定を伴う事業予定は無いものの、多額の地方債発行が見込まれる新庁舎建設事業や保育所移転事業などの実施が見込まれるため、地方債残高などに細心の注意を払い、事業の実施時期などを十分に検討し、健全な財政運営に努めて参ります。

公債費負担の状況

実質公債費比率 [11.0%]

類似団体内順位 36/75 全国平均 9.9 千葉県平均 9.5

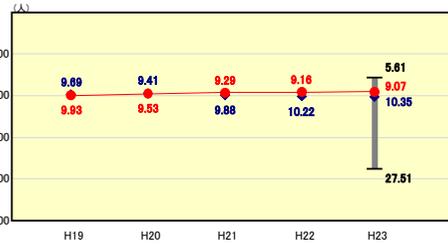


実質公債費比率の分析欄
 実質公債費比率は11.0%で、前年度に比べると1.1ポイント改善し、類似団体の平均値からは0.6ポイント低い比率になりましたが、千葉県平均からは1.5ポイント高い比率となっています。分子要素である町の公債費は現在ピークを迎えており、平成28年度頃までほぼ同額で推移し、その後、徐々に減少していく見込みとなっています。しかし、新庁舎建設事業や保育所移転事業など、多額の地方債発行を伴う事業が控えておりますので、既発債分を含めた公債費の推移に十分注意し、適切な地方債管理などに努め、比率の更なる改善に取り組んで参ります。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [9.07人]

類似団体内順位 31/75 全国平均 7.17 千葉県平均 6.78

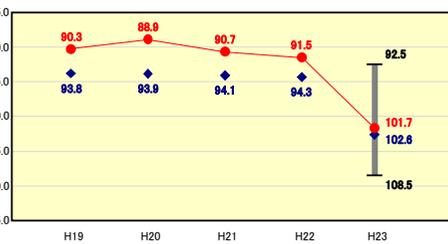


人口千人当たり職員数の分析欄
 職員の退職に伴う新規採用の抑制などにより、類似団体の平均値を1.28人下回る9.07人となっています。近年の事務事業の多様化などにより、職員数の削減には限界が見えつつありますが、今後も事務事業の見直しや民間委託の導入などを積極的に検討し、適切な職員の定員管理に努めて参ります。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレズ指数 [101.7]

類似団体内順位 27/75 全国市平均 106.9 全国町村平均 103.3



ラスパイレズ指数の分析欄
 前年度に比べると10.2ポイント上昇の101.7ポイントとなりましたが、類似団体の平均値と比べると0.9ポイント低く、全国平均からも1.6ポイント低い指数になります。しかし、国の給与削減に伴い指数が100ポイント超となりましたので、適切な給与水準が維持出来るよう検討に取り組んで参ります。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

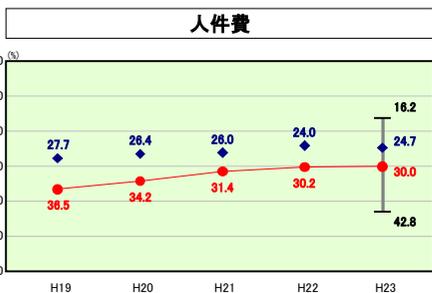
千葉県一宮町

経常収支比率の分析

人口	12,459 人(H24.3.31現在)	実収支比率	- %
面積	23.02 km ²	実収支赤字比率	- %
歳入総額	4,478,547 千円	実収支公債費比率	11.0 %
歳出総額	4,171,366 千円	実収支未償還比率	53.0 %
実収支差	307,181 千円	市町村類型	H19 Ⅲ-2 H20 Ⅲ-2 H21 Ⅲ-2
標準財政規模	2,981,936 千円	(年度毎)	H22 Ⅲ-2 H23 Ⅲ-2
地方債現在高	3,783,106 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



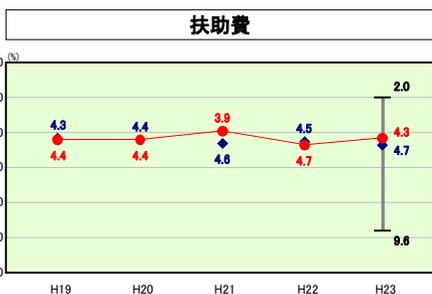
類似団体内順位 67/75 **全国平均** 25.4 **千葉県平均** 29.2

人件費の分析欄
 職員の退職に伴う新規採用の抑制などにより、経常収支比率に占める人件費の割合は年々減少し、前年度から0.2ポイント減少の30.0%となりました。
 しかし、依然として類似団体の平均値や千葉県平均より高い比率となっていますので、要因と考えられる議員報酬手当をはじめ、民間委託の導入などを積極的に検討し、改善に努めて参ります。



類似団体内順位 27/75 **全国平均** 13.1 **千葉県平均** 16.5

物件費の分析欄
 経常収支比率に占める物件費の割合は、類似団体や千葉県の平均より低い10.4%となりました。
 これは、経費削減に積極的に取り組んでいる成果で、特に需要費の決算額は、類似団体を大きく下回る結果となっています。
 今後も、健全な財政運営のため、真に必要な事業の選定に取り組む、経費の節減を図って参ります。



類似団体内順位 26/75 **全国平均** 10.5 **千葉県平均** 10.0

扶助費の分析欄
 経常収支比率に占める扶助費の割合は、ほぼ横ばいに推移しており、4.3%となりました。
 町独自の制度に基づく扶助費については、真に効果的で必要な事業を選定するなどし、扶助費の増加による財政構造の硬直化が進まないよう、細心の注意を払って参ります。



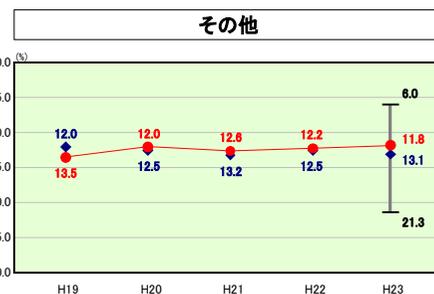
類似団体内順位 49/75 **全国平均** 10.1 **千葉県平均** 8.0

補助費等の分析欄
 経常収支比率に占める補助費等の割合は、類似団体や千葉県の平均より高い15.2%となりました。
 現在、町独自で実施している各種団体への補助金については、既得権益化が見られるため、公平性・透明性が図られるよう検討を進めており、不適当な補助金は見直しや廃止を行い、適切な補助金等の執行が図られるよう取り組んで参ります。



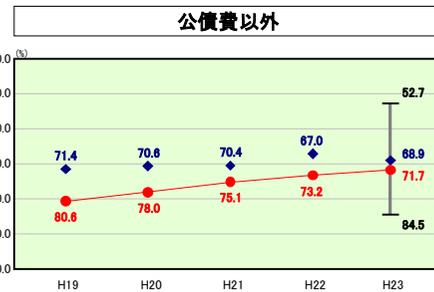
類似団体内順位 24/75 **全国平均** 19.0 **千葉県平均** 16.2

公債費の分析欄
 経常収支比率に占める公債費の割合は、類似団体や千葉県の平均より低い12.3%となっています。
 過去に実施した大型公共事業に伴う既償分公債費は現在ピークを迎え、平成28年度頃までは、ほぼ同額で推移し、その後、徐々に減少していく見込みとなっています。
 今後は、新庁舎建設事業や保育所移転事業など、多額の地方債発行が見込まれる事業が控えておりますので、公債費の推移に細心の注意を払い、適切な地方債管理に努めて参ります。



類似団体内順位 29/75 **全国平均** 12.2 **千葉県平均** 11.1

その他の分析欄
 経常収支比率に占めるその他の割合は、類似団体平均より1.3ポイント低い11.8%となっていますが、千葉県平均からは0.7ポイント高い比率となっています。
 その他については、主に特別会計などへの繰出金が多額を占めるため、特別会計の独立採算の原則を再認識し、特別会計での適切な財源確保を図り、普通会計への負担軽減に努めて参ります。



類似団体内順位 47/75 **全国平均** 71.3 **千葉県平均** 74.8

公債費以外の分析欄
 経常収支比率に占める公債費以外の割合は、千葉県平均を下回るものの、類似団体の平均値からは2.8ポイント高い71.7%となっています。類似団体と構成内容と比較してみると、特に人件費や補助費等の水準が高くなっていますので、適切な水準の維持に向け、見直しや改善に積極的に取り組んで参ります。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

千葉県一宮町

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



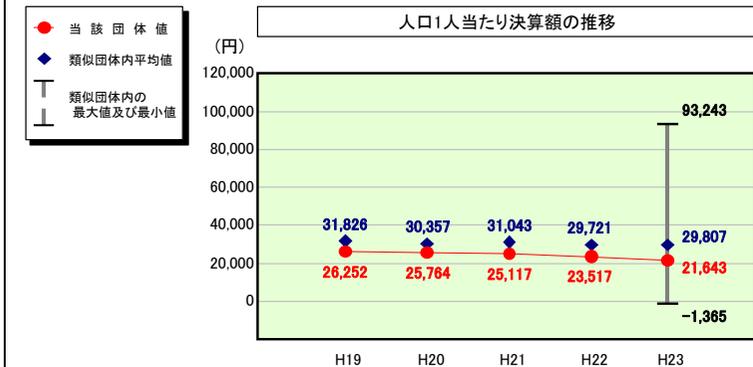
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1,002,520	80,466	90,097	▲10.7
賃金(物件費)	76,093	6,107	8,832	▲30.9
一部事務組合負担金(補助費等)	190,120	15,260	13,533	▲12.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	35,144	2,821	900	213.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	15	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	73,684	5,914	4,360	35.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	10,928	877	1,937	▲54.7
▲退職金	▲121,716	▲9,769	▲10,243	▲4.6
合計	1,266,773	101,675	109,431	▲7.1

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.07	10.35	▲1.28
ラスパイレズ指数	101.7	102.6	▲0.9

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

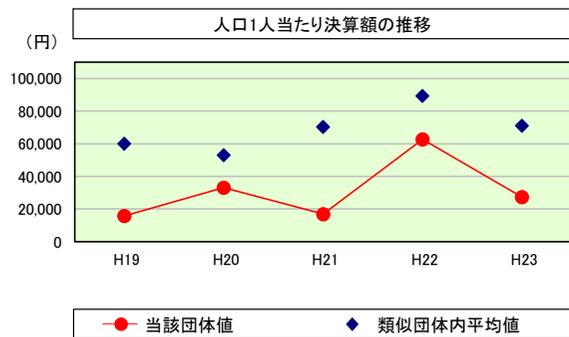


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	372,109	29,867	59,821	▲50.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	3	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	41,176	3,305	16,323	▲79.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	104,419	8,381	5,865	42.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	28,391	2,279	1,195	90.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	7	-
▲特定財源の額	-	-	▲2,897	-
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲276,448	▲22,189	▲50,510	▲56.1
合計	269,647	21,643	29,807	▲27.4

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

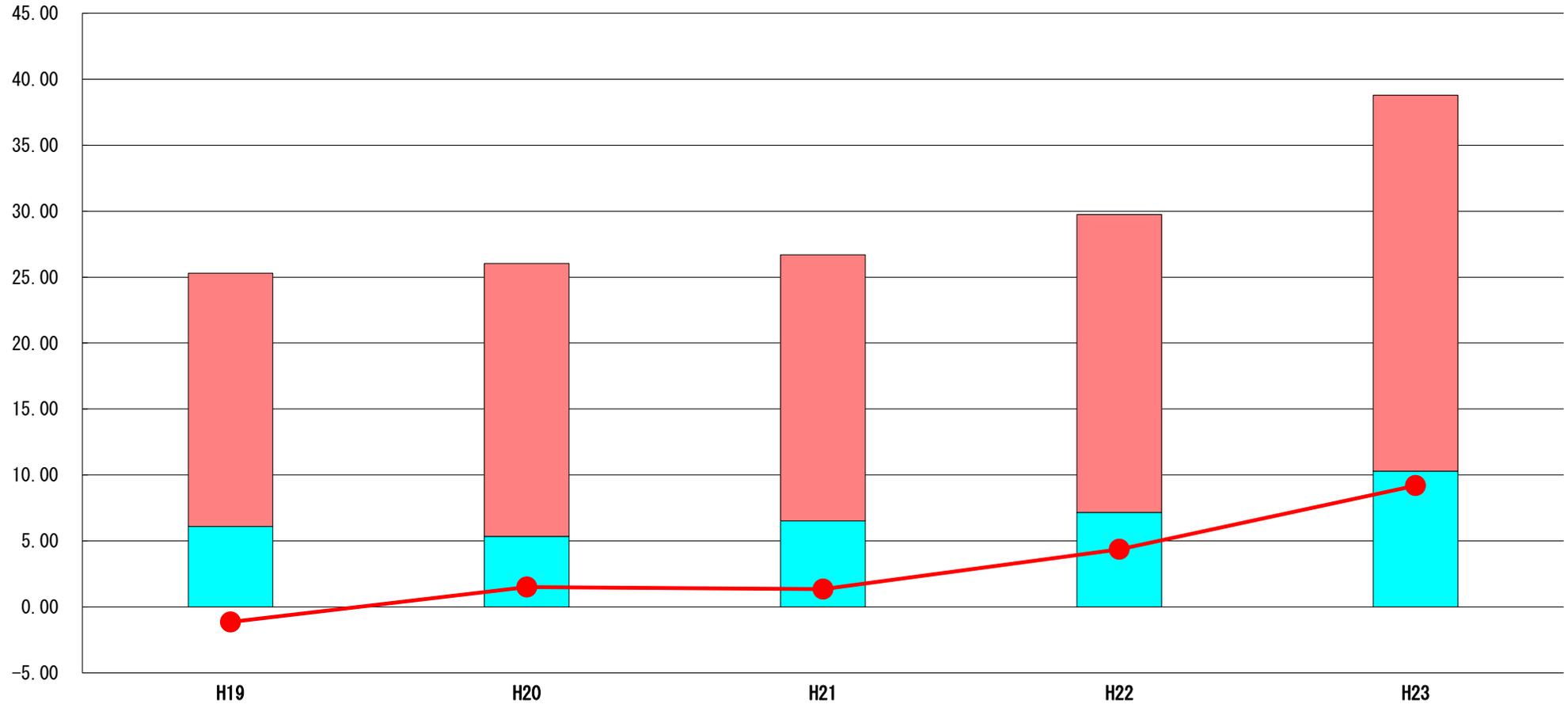
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H19	194,534	15,839	▲59.5	60,088	▲9.4	▲50.1
うち単独分	189,287	15,412	51.4	30,773	▲15.9	67.3
H20	410,791	33,179	109.5	52,940	▲11.9	121.4
うち単独分	158,179	12,776	▲17.1	28,496	▲7.4	▲9.7
H21	210,775	16,873	▲49.1	70,254	32.7	▲81.8
うち単独分	191,974	15,368	20.3	41,764	46.6	▲26.3
H22	786,909	62,702	271.6	89,245	27.0	244.6
うち単独分	581,549	46,339	201.5	42,966	2.9	198.6
H23	340,942	27,365	▲56.4	70,897	▲20.6	▲35.8
うち単独分	314,044	25,206	▲45.6	39,878	▲7.2	▲38.4
過去5年間平均	388,790	31,192	43.2	68,685	3.6	39.6
うち単独分	287,007	23,020	42.1	36,775	3.8	38.3

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成23年度

千葉県一宮町

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H19	H20	H21	H22	H23
 財政調整基金残高		19.20	20.68	20.16	22.59	28.49
 実質収支額		6.10	5.35	6.53	7.16	10.30
 実質単年度収支		▲ 1.14	1.51	1.35	4.37	9.20

分析欄

財政調整基金残高、実質収支額及び実質単年度収支は年々増加傾向にありますが、これは町の財政基盤が強化されたものではなく、平成19年度以降続いている地方交付税の増額交付や国からの地域活性化交付金の臨時交付などが主因であり、依存財源の影響が大きいものと考えられます。

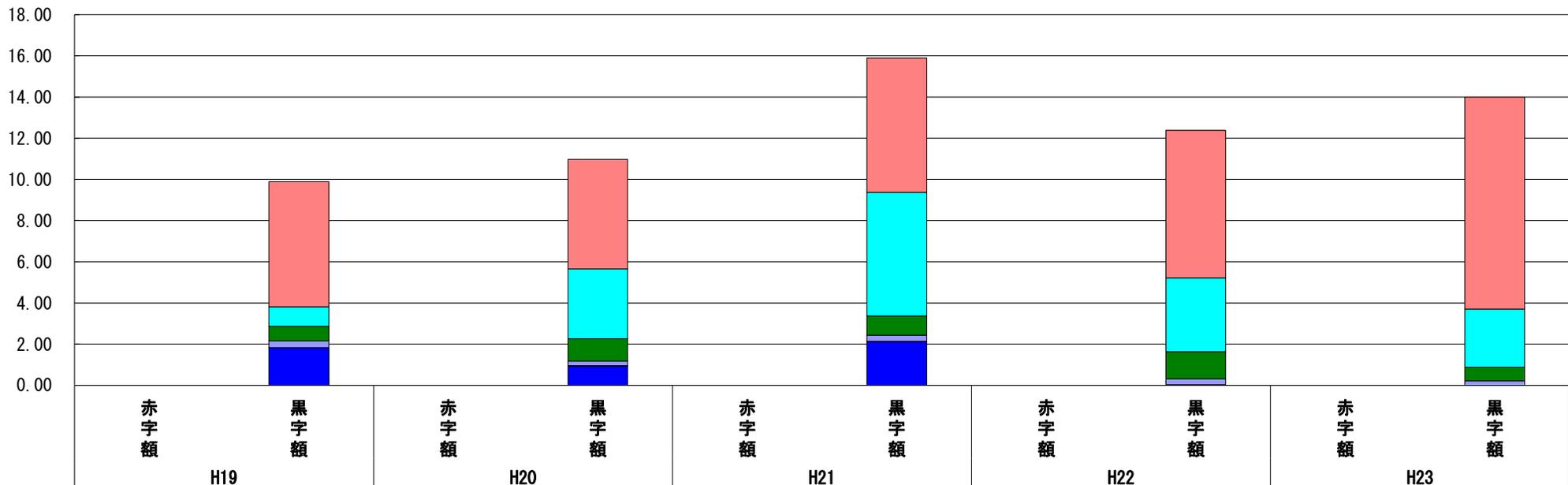
今後は、徹底した経費の節減や町税など自主財源の積極的な確保に取り組み、財政基盤の強化に努めて参ります。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成23年度

千葉県一宮町

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
一般会計		6.08	5.33	6.51	7.16	10.30
国民健康保険事業		0.94	3.39	6.01	3.58	2.82
介護保険事業		0.70	1.08	0.93	1.32	0.66
農業集落排水事業		0.34	0.22	0.30	0.29	0.22
後期高齢者医療事業		-	0.03	0.01	0.01	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		1.83	0.93	2.13	0.02	-

分析欄

健全化判断比率の算定が導入された平成19年度決算以降、一般会計のほか、全ての会計は黒字決算となっているため、連結実質赤字比率は生じておりません。
引き続き、全ての会計において赤字決算とならないよう、適切な財政運営に努めて参ります。

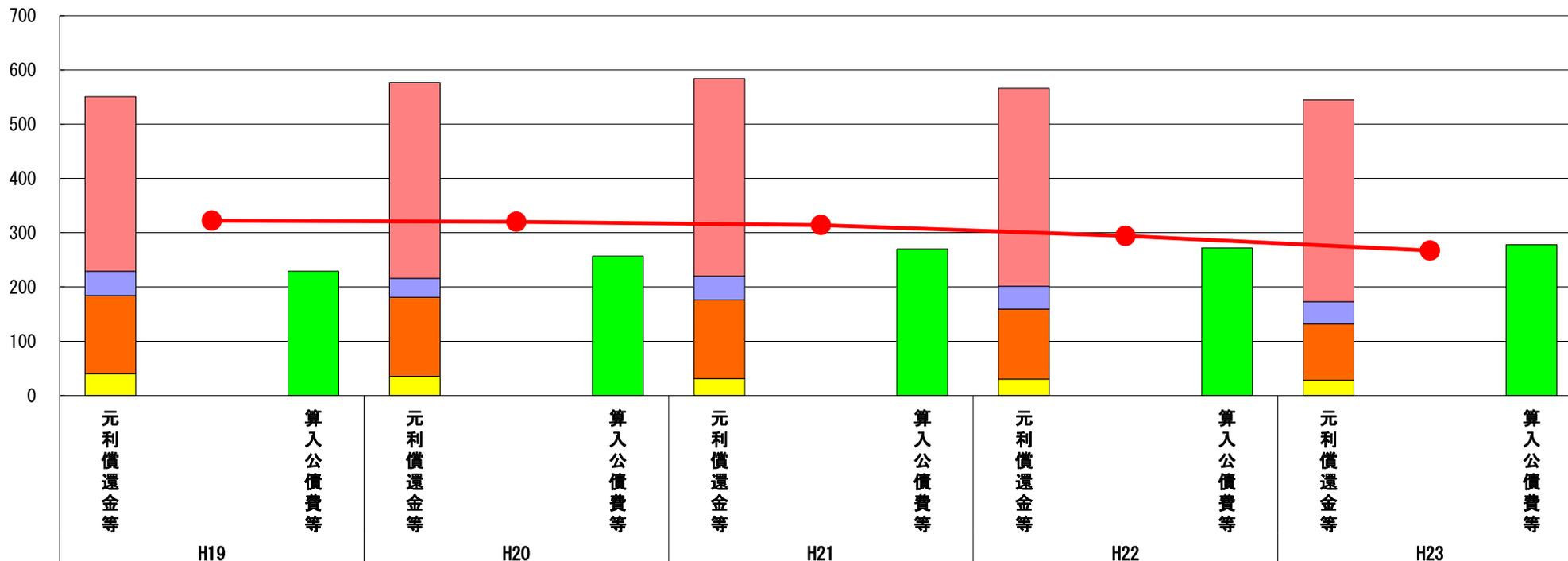
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

千葉県一宮町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等 (A)	元利償還金		322	361	364	365	372
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		45	35	44	42	41
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		144	146	145	129	104
	債務負担行為に基づく支出額		40	35	31	30	28
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		229	257	270	272	278
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		322	320	314	294	267

分析欄

実質公債費比率の分子は緩やかに下降を続けておりますが、これは一部事務組合に係る償還が進んでいることなどが要因であり、分子の大部分を占める町の元利償還金は、現在ピークを迎え、平成28年度頃まで現在とほぼ同額で推移し、その後、徐々に減少していく見込みとなっております。

今後は、新庁舎建設事業や保育所移転事業など、多額の地方債発行が伴う事業が控えているため、分子の増加に細心の注意を払い、適切な地方債管理に努めて参ります。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

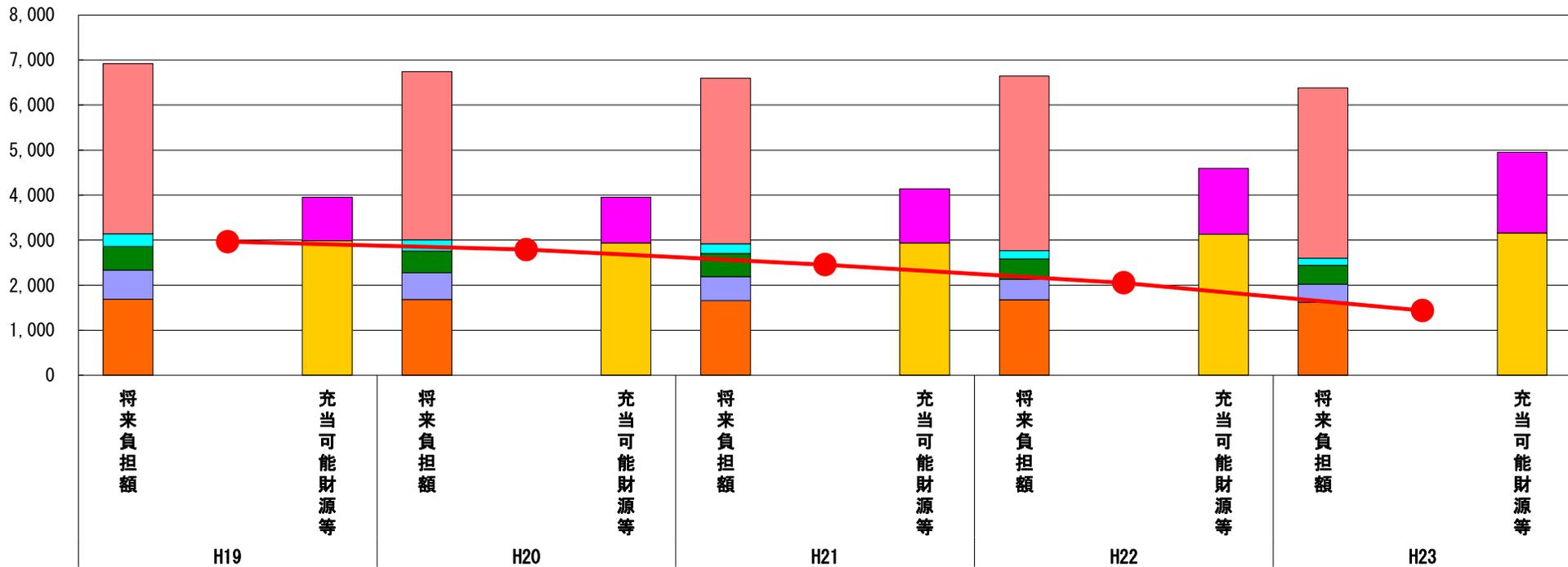
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成23年度

千葉県一宮町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		3,777	3,738	3,678	3,881	3,783
	債務負担行為に基づく支出予定額		282	249	212	184	158
	公営企業債等繰入見込額		521	480	516	450	422
	組合等負担等見込額		648	594	528	454	398
	退職手当負担見込額		1,690	1,684	1,661	1,678	1,623
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		968	1,018	1,201	1,467	1,791
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		2,985	2,937	2,938	3,129	3,158
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,964	2,789	2,454	2,052	1,435

分析欄

将来負担比率の分子は、健全化判断比率の導入以降、年々減少を続けておりますが、これは分子要素である将来負担額の減少によるものではなく、将来負担額から差し引くことが出来る充当可能財源のうち、基金残高が地方交付税の増額交付や各種地域活性化交付金の臨時交付により増加しているためです。

今後は、多額の地方債発行を伴う新庁舎建設事業や保育所移転事業などにより、将来負担額の増加が見込まれますので、計画的に事業を行うなど、将来負担額の動向に細心の注意を払い、健全な財政運営に努めて参ります。

※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。